

# CINGA日本語学習支援者に対する 研修プログラム普及事業

特定非営利活動法人 国際活動市民中心 (CINGA)

# CINGA（シンガ）とは・・・

---

NPO法人国際活動市民中心 CITIZEN'S NETWORK FOR GLOBAL ACTIVITIES

特徴：外国人の支援を行う専門家のネットワーク組織  
支援者を支える中間支援・コーディネート組織

弁護士、行政書士、心の相談、労働相談、社会福祉士、社会保険労務士、通訳者、日本語教師、メディア関係者、

協会職員などが専門性を活かして市民活動を行っています。2004年設立、会員数50名

- ・東京都外国人新型コロナ生活相談センター（TOCOS）協力実施
- ・東京出入国在留管理局主管 外国人総合相談支援センター／東京開業ワンストップセンター受託（2012～）
- ・外国人技能実習機構母国語相談センター受託（2018、2019年度）
- ・文化庁 地域日本語学習支援者育成カリキュラム開発事業（2018、2019年度）
- ・無料多言語専門家相談事業（毎週2回の専門家相談会実施）自主事業
- ・少数言語通訳者の派遣コーディネート事業（2018、2019年東京都助成対象事業）

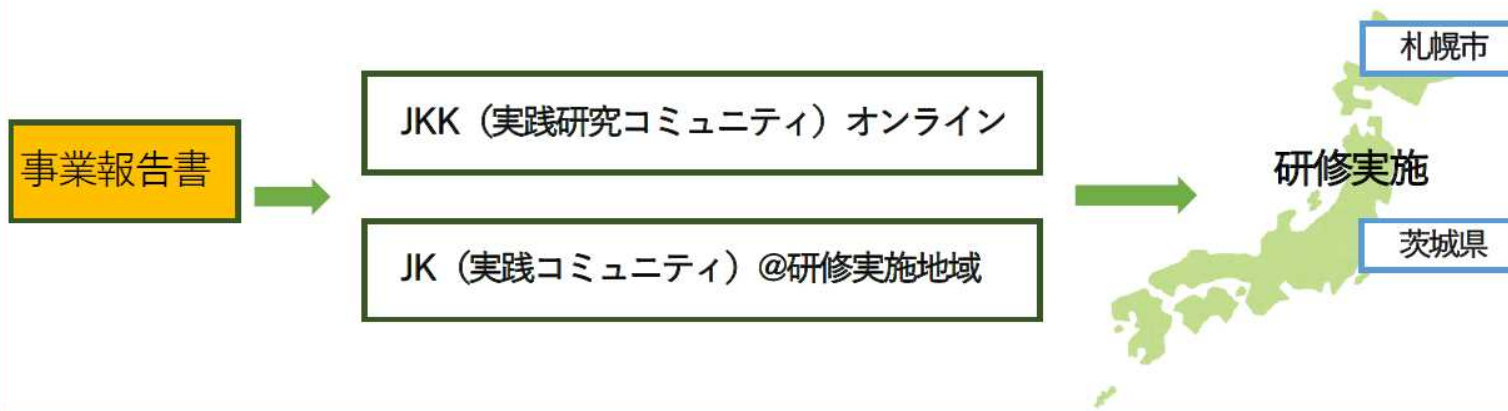
# 事業実施の背景

## 2018-2020【文化庁委託 CINGA 日本語学習支援者に対する研修カリキュラム等開発事業】

上記「報告」に示された日本語学習支援者に求められる資質・能力を学ぶための研修カリキュラム作成後、埼玉県越谷市・東京都港区の二ヶ所にて研修実施



## 2020【文化庁委託 CINGA 日本語学習支援者に対する研修プログラム普及事業】



# 研修のねらい (求められる／望まれる資質・能力及び活躍が期待される場)

## 日本語学習支援者に求められる資質・能力

表 8

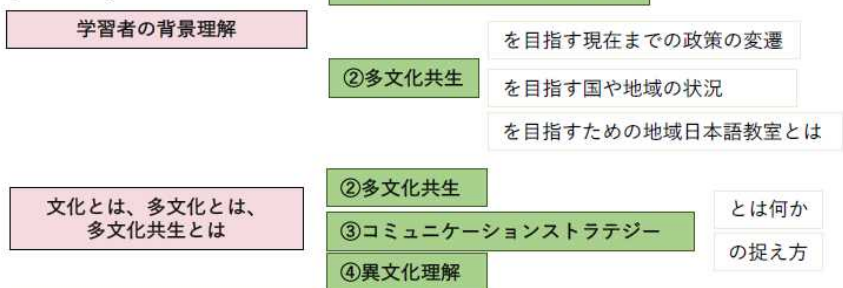
	知識	技能	態度
日本語学習支援者	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 日本語や日本文化, 社会, 多文化共生に対する一般的な知識・理解を持っている。</li> <li>(2) 日本語教育に携わる機関・団体及び関係者による支援体制と自らに期待される役割について理解している。</li> <li>(3) 学習者の来日の経緯, 国や言語・文化背景, 日本語の学習目的に対する一定の知識を持っている。</li> <li>(4) 異文化理解や異文化間コミュニケーション, コミュニケーション能力に関する基礎的な知識を持っている。</li> <li>(5) 日本語の構造や日本語学習支援に関する基本的な知識を持っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 分かりやすく伝えるために, 学習者に合わせて自身の日本語を調整することができる。</li> <li>(2) 学習者の発話を促すために, 耳を傾けるとともに自身の発話を調整することができる。</li> <li>(3) 日本語教育コーディネーターや日本語教師とともに, 日本語学習を支援することができる。</li> <li>(4) 学習者の状況を観察し, 日本語教師や日本語教育コーディネーターの助言を得ながら, 学習方法や学習内容を学習者に合わせて工夫することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 学習者の背景や現状を理解しようとする。</li> <li>(2) 学習者の言語や文化を尊重し, 対等な立場で接しようとする。</li> <li>(3) 学習者や支援者などと良好な対人関係を築こうとする。</li> <li>(4) 学習者が自ら学ぶ力を育み, その学びに寄り添おうとする。</li> <li>(5) 異なる考えや価値観を持つ他者と協働できる柔軟性を持つようとする。</li> </ul>

※表 8 「日本語学習支援者に求められる資質・能力」は, 表 1～7 を前提とするものではない。

引用元: 『日本語教育人材の養成・研修の在り方について』  
2019.6 文化審議会国語分科会日本語教育小委員会

# 研修のねらい

## 第1回

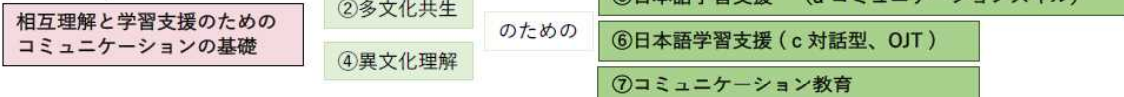


### 研修の構造

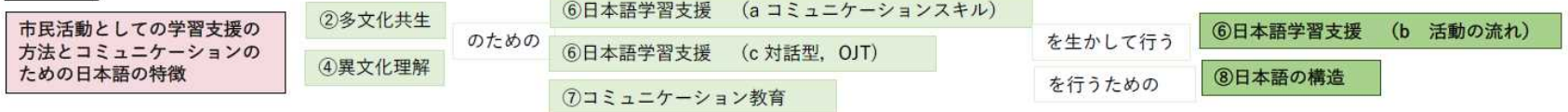
●本図は研修の各回に「報告」内「教育内容：表2.2」がどのように含まれているかを表す。また、第1回から5回の内容がどのようなつながりを持つ構造となっているかを表す。

- : 各回タイトル
- : 該当回での主な学習内容
- : 該当回以前の学習内容のつながり

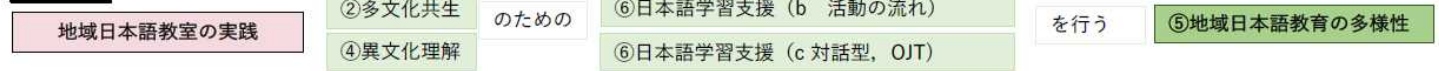
## 第2回



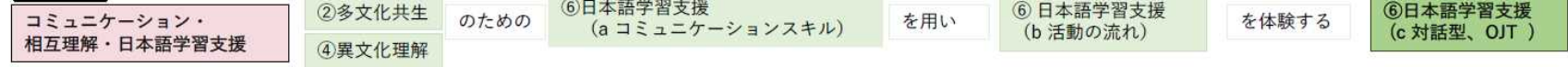
## 第3回



## 第4回



## 第5回



# 研修のねらい

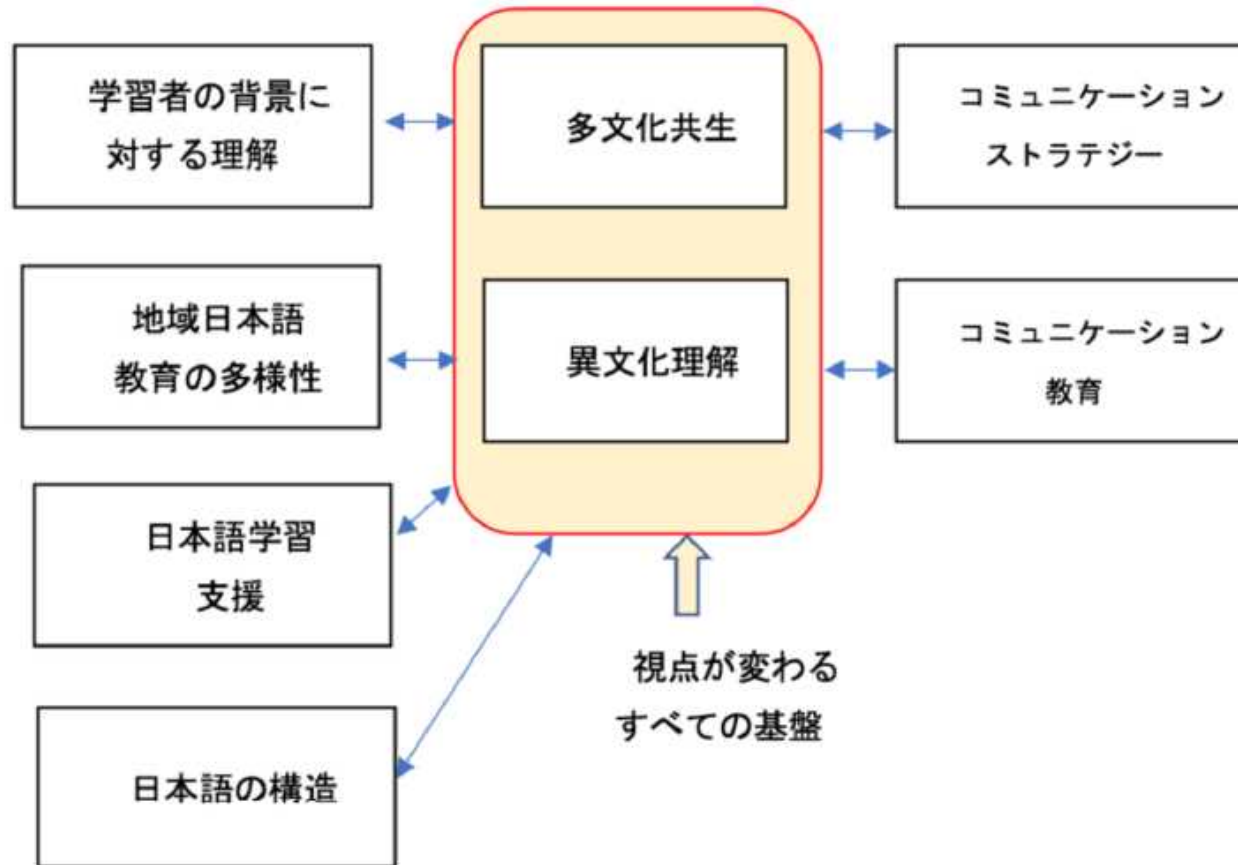





図7 8つの教育内容の関係

# 普及事業の概要

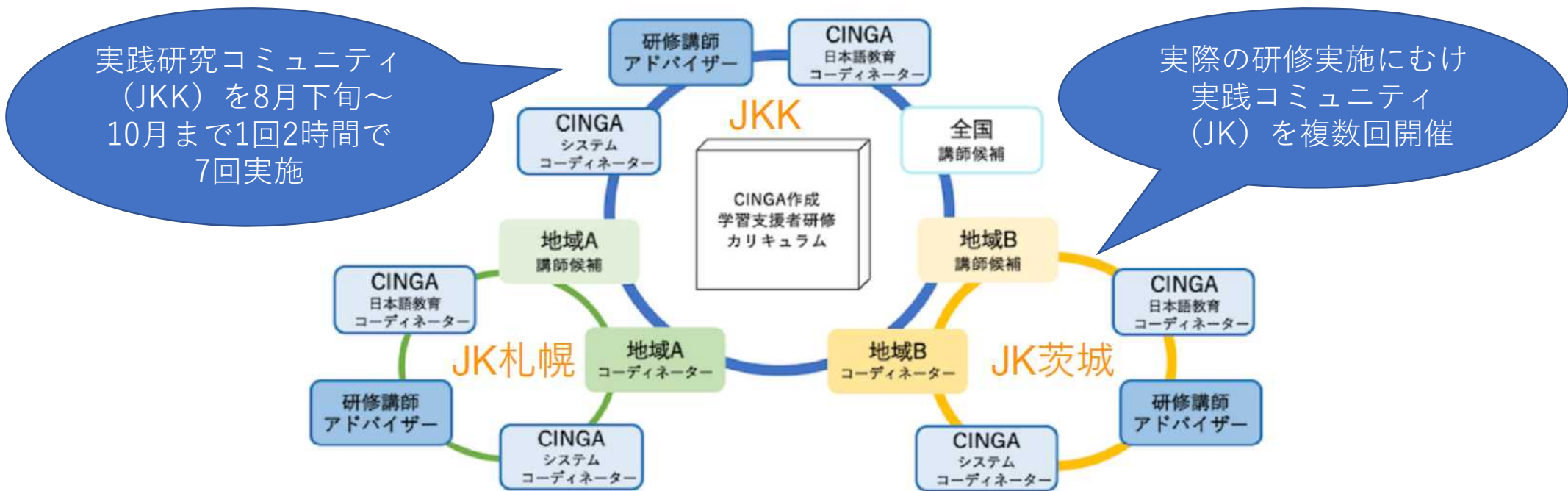
実施期間	令和2年度							
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
(a) 研修プログラム実施委員会								
(b) 研修プログラムの実施								
(c) 研修担当講師の育成								
(d) その他関連する取組								



# 普及事業の概要

## ポイント① 研修講師・コーディネーターの育成

c) 研修講師・コーディネーターの育成（全体像）



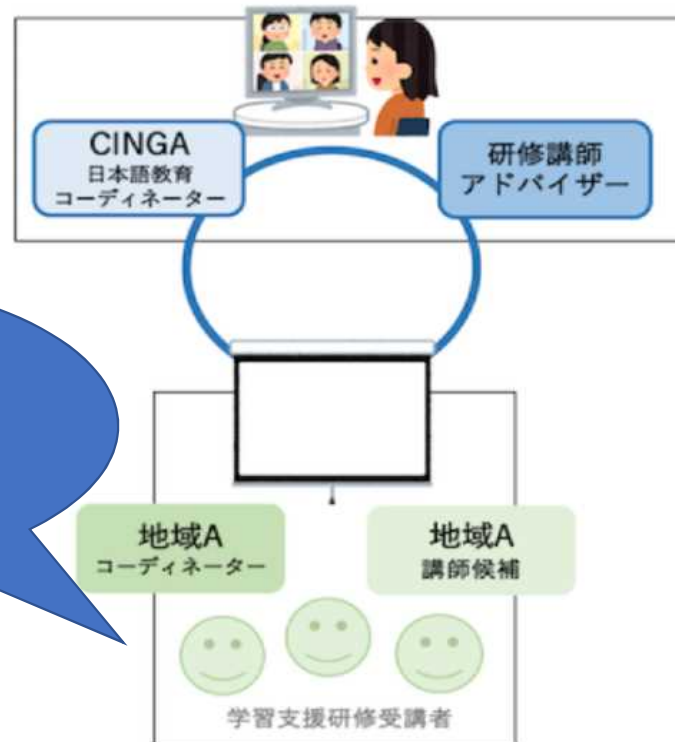


# 普及事業の概要

## ポイント② 研修実施と育成を同時に

### b) 研修プログラムの実施

### c) 研修講師・コーディネーターの育成

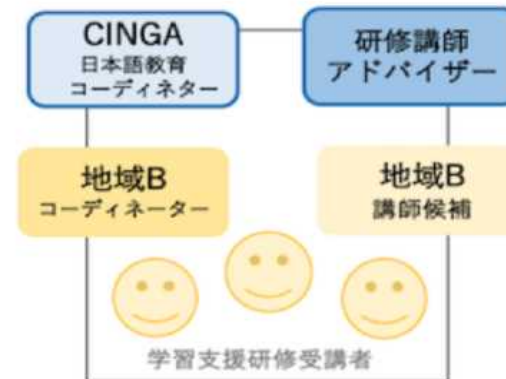


#### 【地域A 実施案】

- ・ 2ヶ所に分かれる遠隔支援  
CINGA日本語教育コーディネーター及び  
研修講師・アドバイザーは遠隔支援と遠隔によ  
る講義の担当も視野に入れる
- ・ 現地でのファシリテートは自治体の  
コーディネーターが行う

#### 【地域B 実施案】

- ・ 現地での直接支援



育成された講師陣が  
すべての講座を担当  
コーディネーターは  
全設計を行う

# 普及事業の概要

## ポイント③ 関係者で取り組みの設計図づくり

### その地域にあった

「研修のねらい」

- ・ 求められる／望まれる資質・能力
- ・ 活躍が期待される場

設定することができるか

を

# 研修実施の進捗

研修実施地	札幌市	茨城県
協働先	札幌国際プラザ	茨城県国際交流協会
参加講師	3名	6名
コーディネーター	プラザ職員（日本語教師）	協会職員（体制整備B事業統括コーディネーター）
研修実施期間	11月8日～12月13日	1月17日～2月26日
回数	3時間×5回	3時間×5回×2か所
参加予定者	57名	12月より募集開始
研修実施方法	オンライン開催	オンライン＋対面実施
今後の展望と持続性	地域にあった日本語活動を展開	日本語教室を2か所新規開催予定